

市P連だより

# あきたっ子

平成18年3月8日

## No.97



発行 秋田市PTA連合会 市P連シンボルマーク  
編集 総務広報部  
事務局 秋田市山王二丁目1-53山王21ビル内  
☎866-2248 FAX 866-2252  
E-mail:akitapta@cna.ne.jp

子どもたちが新世紀の担い手として成長してくれることを願い、「あきたっ子」としました。



- 1面 赤田会長のあいさつ
- 2面 教育懇談会
- 3面 文化研修会・一円玉募金  
スナップあきたっ子
- 4面 こちら家庭教育相談  
『ぐりーん・えこー』です

豊岩小学校 石田坂子供会なまはげ  
<小正月行事>



戸米川小学校 銅屋地区子供会やまはげ<小正月行事>

「早寝・早起き・朝ごはん」



秋田市PTA連合会  
会長 赤田 英博

子どもたちの正しい生活リズムを、地域全体ではぐくめる社会をつくろうをテーマに、国民的な運動になるように、文部科学省と日本PTAが連携して活動を進めております。生活習慣は、子どもの学力・体力に大きな影響を与え、毎日朝食をとる子どもは、パーテストの得点が高い傾向にあり、お手伝いをする子どもは、道徳観・正義感が身に付いている傾向にあるとの調査結果が出ております。また、朝ごはんを食べない子どもは、小学生で十五%、中学生で二十二%との調査結果も出ております。早寝が習慣化すれば、目覚めもスッキリします。朝食は子どもたちの集中力を高め、脳と体のエネルギー源です。今一度、我が家の食生活や基本的な生活習慣を見直して頂きたいと思えます。子どもの前に、見直すべきは大人の生活習慣だという声も聞こえてきそうですが？

# 「新しい時代を担う子どもたちの

## 健全育成を願う」

### 教育委員会と懇談会を開催

21世紀の新しい時代を担う

子どもたちの健全育成を願い、望ましい教育環境を構築して行くために、秋田市教育委員会と秋田市PTA連合会との教育懇談会が十一月三十日午後六時よりホテルメトロポリタンにおいて、教育委員会関係者と小中学校PTA関係者が多数参加し開催されました。

初めに秋田市教育委員会の飯塚明教育長はあいさつで、日頃から子どもたちへの教育、指導に関してPTA、地域住民の協力を感謝を述べ、今後とも将来ある子どもたちがより良い教育環境で豊かな人間形成ができるよう努力して行くことをあいさつしました。

つづいて、秋田市PTA連合会の赤田会長は日頃の教育委員会からのPTAに対するご指導、ご支援に感謝することや、今年度も多数の秋田市教育委員会の方々に出席してもらい、直接意見、要望を伝

えることができる機会を頂いたことにお礼を申しあげました。

また、義務教育の国庫負担引下げに関して、地方の教育事情が変化することに懸念するとともに今後も教育委員会と互いに協力し、子どもたちへのより良い教育を提供する努力をすることをお話しました。

各単位PTAより出されたものを集約した十一項目の質問、要望事項をふまえた意見交換ではあらためて委員会の関係部所より回答の説明があり、出席した市内小中学校PTA関係者より更なる要望や見直しなどの意見に直接回答をいた、たく有意義な会となりました。

最後に、城東中学校中村千博PTA会長より、同中学二年生雲雀英行君の米国での治療費用の募金活動への協力に對して、感謝のことばがあり閉会となりました。

〈教育懇談会資料〉

## 「秋田市教育委員会と秋田市PTA連合会との教育懇談会」における質問、要望事項について（回答）抜粋

**ゆとり教育見直しの動きに対して、どのような対応を考えているか伺いたい。**

「ゆとりの中で生きる力を育む」という現行学習指導要領における「ゆとり」とは、子どもたちがじっくり考えたり、様々なことを感じたりすることができる時間的・精神的ゆとりを意味するものであり、授業の質的転換を目指したものです。

本市では、「ゆとり」を「時間的ゆとりの中で、基礎・基本を確実に身に付け、自ら考え行動する力を高める指導の充実を図るものである」ととらえ、個に応じた発展的・補充的な学習や、自らの課題を追求する学習の場を設けるなど、学習活動の充実を図ってまいりました。

同時に、平成6年度から本市独自の基礎学力調査を実施し、本市児童生徒の学習状況を把握するとともに、調査結果を生かした指導の改善を進めているところであります。

今後も本市の子どもたちに「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」をはぐくむ教育の充実を目指してまいります。  
《学校教育課》

**学校施設のアスベスト対策について、現在の調査結果と今後の対策方針について伺いたい。**

市立小中学校全73校の施設において、吹き付け材についての調査を実施した結果、仁井田小学校および秋田東中学校の校舎の一部天井裏鉄骨部材に石綿（アスベスト）含有吹き付け材が確認されました。石綿含有率は、国が規制している数値を下回るものですが、児童生徒の安全を第一義に考え、現在、石綿含有吹き付け材が確認された校舎を立入禁止にしているところです。

今後は、立入禁止にしている校舎の石綿の除去を行い、児童生徒にとって安全・安心な教育環境の整備に取り組んでまいります。  
《総務課》

**他県の小学校での事件などを契機として、秋田市における対応策として各小学校に警備員を配置しており、安全確保の効果が大きいと思われるが、現状での評価を伺いたい。また、来年度以降の継続を希望する。**

全小学校への警備員配置は犯罪行為への抑止力となっており、校内における事件・事故の未然防止につながっているものと考えております。

また、二次的な効果としては、児童・保護者に安心感が生まれたこと、教職員が安心して授業に専念できること、さらに、地域住民の安全に対する意識の高揚にもつながり、地域ぐるみで児童を守っていく体制づくりにも役立っております。

以上のような状況を踏まえ、警備員の配置については来年度も継続する方向で検討しております。  
《学事課》

このような現状を踏まえ、NHKでは、二〇〇一年から「子どもに良い放送プロジェクト」を立ち上げ、放送の子どもに与える影響について、追跡調査を行い研究をしているとのことである。

情報技術が急速に進行していく中、保護者の我々はどのようにテレビと付き合ったらよいのだろうか。

文化研修部では、二月十八日、秋田市文化会館に於いて、NHK秋田放送局長栗田実氏を講師にお招きして、「デジタル時代にテレビとどう付き合うか」というテーマで部員研修会を開催しました。

最近のテレビに関する問題点としては、子供向けの番組が多、長時間に渡るテレビの視聴、ゲームをしている時の「ゲーム脳」という問題、少年犯罪の影にあるインターネットの存在、などがあると言われている。

テレビの映像は現実を映したものであり、仮定の現実であるといえる。現実と仮想現実の間は越えることが出来ないということ子ども達に教える必要がある。

また、テレビの音声は言葉で出来ており、言葉の力を鍛えることにより、この仮想現実にも立ち向かうことができるのである。

テレビには、いろいろな功罪があるため、見ないほうが良いという議論もあるが、逆に家族みんなで見ることで、家族の横のつながりができる。このことがテレビの最大の効用と言えるのではないだろうか。

「デジタル時代にテレビとどう付き合うか」について

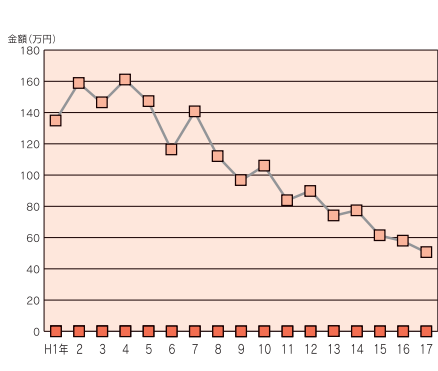
常任委員（文化研修部）  
帆苅 均



昭和五十五年から実施されてきた一円玉募金も今年で二十六回目になりました。今年度も例年同様に実施しようと活動していましたが、個人情報保護法の兼ね合いがあり、実施に一時まったがかかり、難渋しました。結局は子どもたちの善意を例年どおり届けることが出来、ご協力くださった皆さまには大変感謝しております。去る十二月二十六日に贈呈式を行いました。大雪・寒波の影響で、参加の新城小学校の子どもたちの到着が遅れるなどハプニングがありました。無事に贈呈式を執り行うことが出来ました。

テレビの映像は現実を映したものであり、仮定の現実であるといえる。現実と仮想現実の間は越えることが出来ないということ子ども達に教える必要がある。

また、テレビの音声は言葉で出来ており、言葉の力を鍛えることにより、この仮想現実にも立ち向かうことができるのである。



累計贈呈額  
三〇、二四一、五〇二円  
五一一、八九五円

昭和五十五年から実施されてきた一円玉募金も今年で二十六回目になりました。今年度も例年同様に実施しようと活動していましたが、個人情報保護法の兼ね合いがあり、実施に一時まったがかかり、難渋しました。結局は子どもたちの善意を例年どおり届けることが出来、ご協力くださった皆さまには大変感謝しております。去る十二月二十六日に贈呈式を行いました。大雪・寒波の影響で、参加の新城小学校の子どもたちの到着が遅れるなどハプニングがありました。無事に贈呈式を執り行うことが出来ました。

## スナッフ あきたっ子

11月4日(金) 明德小学校  
秋田中央道路見学  
「わぁ～ ひろいんだねえ」

1月28日(土) 河辺サッカースポーツ少年団  
河辺冬まつり  
「ボク、ドラえもん！」わかるかな？

2月14日(火) 明德小学校  
かまくらファンタジア  
「かまくらの中って、あったかいね」

こちらら家庭教育相談  
『ぐりーん・えこー』です

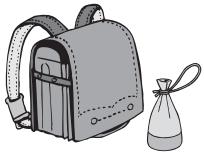
朝9時。家庭教育相談『ぐりーん・えこー』の相談電話が鳴り始めます

「あのう、子どものことで相談したいのですが。」  
「ハイ。よろしいですよ。どうぞなさいましたか。」  
「実はウチの子……。」

ここは、秋田駅東口の、秋田拠点センターアルヴェの5階、秋田市子ども未来センターの一角です。

子育てをする上での悩みや心配事を、保護者の皆さんと一緒に考えていく相談機関として『ぐりーん・えこー』が誕生し、来年度でちょうど30年。世の中のめまぐるしい変化に伴って、相談の内容も変わってきましたが、子どもたちの幸せを願う大人の心に変わりはありません。

では、最近の小中学生に関する相談を紹介しましょう。



Q1 小学校低学年です。テレビゲームに熱中し、勉強時間の約束を守りません。

A1 それは困りましたね。テレビゲームは、勉強時間にくい込むだけでなく、次のような問題点を抱えています。  
〈健康面〉じつと座ったまま目と手先だけを激しく動かすため、運動不足や神経の疲れを招きます。また、ゲームをやり過ぎると脳の一部が働かなくなる危険性を唱える研究者もいます。

〈人間関係〉画面だけが相手の遊びであるため、友だちや家族と関わる時間はどうしても少なくなりそうです。  
これらを考えると、やはりゲームの時間はきちんとけじめをつけることが必要ですね。子どもさんには理由をきちんと説明し、納得させた上で『親子の約束』としましょう。

時間を守ってゲームをやめた時は、「あたりまえ」と思わず大いにはめてあげることが忘れられないようにしましょう。子どもはほめられることによ

り、スムーズに勉強に移れることがあります。

Q2 小学校高学年です。仲の良い友だちがいなかったため、学校へ行くのがつらそうです。

A2 ご心配でしょうね。小学校高学年になると、グループや友だちが固定してきます。その輪に入りそびれた子はどうしても寂しさを感じてしまいます。

しかし、誰か一人でも自分の気持ちをわかってくれる人がいたら、子どもの気持ちはかなり救われます。まず親が子どものつらい気持ちを十分聴いてあげ、受け止めてあげましょう。そして、自信をなくしている我が子の長所を見つけて話してあげましょう。

「人生の中で本当に仲良くなれる友だちは、たった一人がいい。長い時間をかけて見つけていこう。」「いざれ必ずあなたと気の合う人が見つかるはず。」と心から応援してあげましょう。  
親が子に代わって友だちを作ってあげることができません。子どもさんの力を信じて見守りましょう。

あまりつらそうなときは、担任の先生に相談し、学校でのお子さんの様子を見守っていただきましょう。



Q3 中学生になったとたん、親への態度がすごく悪くなりました。反抗ばかりします。

A3 毎日つきあうのが大変なことでしょうね。でも、子どもさんは、無事に大人への階段を昇り始めたと言えましょう。親がいなくても生きていける力を身につけるため、『親を頼る自分』に別れを告げようとしているのです。そのときなぜか子どもは親を好きでなくなりません。そして、反発したり、口をきかなくなったり、わざと悪い子になってみせたりしては、親を手こずらせます。あまりの態度の悪さに親の方は、きつく叱ったり、子どもと大げんかをしたり、育て方が悪かったかと悲観したりすることが多いかもしれませんね。

でも、考えてみるとこれはかつて自分たち親も通ってきた道です。態度の悪さには片目をつぶり、ちよつと離れて、『二人で生きていける練習』を大らかに見守りましょう。

家庭教育相談 (ぐりーん・えこー)

電話相談・面接相談 9:00~18:00

018(887)5337 (日曜休み)

4月から時間と休みを上記のとおり変更する予定です。

〈相談内容〉しつけ、不登校、友だち関係、いじめ、親子関係、勉強、進路、習い事、情緒不安定、問題行動、発達の遅れ、etc.

秋田市子ども未来センター内

あとかき

河辺雄和地区が秋田市に加わり、新しく生まれかわったあきたつ子を無事、発行することができました。短期間の原稿依頼にもかかわらず快くご寄稿下さいました皆様、そして各関係の方々、心からお礼申し上げます。

明徳小学校

田中裕美